

第13回 さがの映像祭

手話は言語～デフムービーって何だろう～

2017.1/28[土]13:00～18:00 (12:30開場)

1/29[日]10:00～16:00 (9:30開場)

かんばいかん

同志社大学寒梅館ハーディーホール

京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103<京都市営地下鉄烏丸線「今出川駅」下車②番出口より北へ60m程>



1/28[土]上映
14:40～16:35

ワークショップ①
16:45～18:00 会議室
今村彩子監督

「本当の『壁』は誰が作っているのだろうか？」
～『Start Line』制作を通して考えたこと～



1/28[土]上演
16:50～18:00

チケット(自由席)

※前売りチケットあり。当日会場でも受付いたします。

一般:2日券 1,500 円 1日券 1,000 円

学生:2日券 1,000 円 1日券 700 円 (小学生～大学・専門学校生)

ハーディーホール配備
手話通訳
PC要約筆記

ワークショップ申込方法

1ワークショップ番号(①または②)、2名前、3連絡先、4聴覚障害者・健聴者人数を事務局(裏面)までお知らせください。申込締切:2017年1月13日(金)※研修センター公式サイトよりインターネット申込み可。※定員に余裕がある場合は当日受付もいたします。※ワークショップ参加は無料ですが入場には映像祭チケットが必要です。

主催 同志社大学ソーシャル・ウェルネス研究センター 第13回さがの映像祭実行委員会
協賛 社会福祉法人全国手話研修センター 認定 NPO 法人CS障害者放送統一機構
特別協賛 公益財団法人京遊連社会福祉基金
後援 一般財団法人全日本ろうあ連盟 京都市



第13回映像作品コンクール
応募作品上映

1/28[土]13:00～14:30 Aグループ

1/29[日]10:00～12:00 Bグループ



※画像は2015年度
第12回応募作品



1/29[日]上映
13:00～15:00

ゲスト
いとう葉のは氏
「函館珈琲」脚本制作



ワークショップ②

1/29(日)11:00～12:30(予定) 会議室
「ろう映画(デフムービー)

関連ワークショップ(仮題)」

※詳細は公式サイトに掲載します

第13回さがの映像祭

2017.1/28[土]~29[日]

司会:山本真記子(目で聴くテレビ手話キャスター)

手話や映像関係の
販売・展示も募集中

第13回映像作品コンクール

応募作品上映

ハーディーホール

1/28[土] 13:00~14:30 Aグループ

1/29[日] 10:00~12:00 Bグループ

※クローバーホールでも上映 ※上映作品は公式サイト掲載予定

審査発表・表彰式・審査員講評 1/29[日]15:10~

【審査員】(50音順)

池田 和生 (元KBS京都放送ディレクター)

井上 泰治 (映画監督。主な作品に「水戸黄門」ほか)

今村 彩子 (映画監督。Studio AYA 代表)

大館 信広 (映画監督。デフムービーエンターテインメントプロディヤ代表)

金山 智子 (岐阜県立情報科学芸術大学院大学教授)

高田 英一 (特定非営利活動法人CS障害者放送統一機構理事長)

津田 正夫 (元立命館大学教授、元NHKチーフプロデューサー)

早瀬 憲太郎 (映画「ゆずり葉」「生命のことづけ」監督)

横地 由起子 (京都シネマ支配人)

会場特別賞
作品投票を
しよう!

自転車日本縦断ロードムービー スタートライン

Start Line

1/28(土)14:40~上映

生まれつき耳の聞こえない映画監督が、自転車で沖縄→北海道日本縦断の旅へ。コミュニケーションの壁にへこみ、涙しながら走り続ける57日間の記録。伴走カメラマン哲さんの叱咤激励、聴力を失った旅人ウィルとの出会い…ニッポン中のためらう人に観てほしい、一篇の勇気のおすそわけ。
(2016/112分)



今村彩子監督ワークショップ
○映画上映終了後16:45~
○地下A会議室にて

いまむらあやこ:愛知県出身。
映画監督で大学非常勤講師。
自主上映や講演活動を精力的
にこなしている。

函館珈琲 1/29(日)13:00~上映

HAKODATE Coffee



主演
黄川田将也
監督
西尾孔志
脚本(函館港イルミナ
シオン映画祭 2013年
度函館市長賞)
いとう菜のは

函館の街にひっそりと佇む古い西洋風アパート翡翠館。装飾ガラス職人を目指す堀池一子。ティンバーアートアーティスト相澤幸太郎。ピンホールカメラ専門の写真家藤村佐和。夏のあの日、やってきた松山英二。翡翠館に集う若者たちの出会いと葛藤を描き出す。(2016/90分) 日本語字幕上映(別画面)

劇団あしたの会 昨日・今日・明日



1/28(土)16:50~上演

©劇団あしたの会

出演 蒲原敏光 志水陽一 一文字鷹 高井恵美

時代は2030年、手話言語法制定から10数年後。2人のろう者が、手話言語法ができてからの変化について話していると「歴史じいさん」と名乗る老人がやってきて、ろう者が苦しみ戦った過去のことについて話し出す……。

会場

同志社大学 寒梅館

ハーディーホール

(寒梅館地下1階)

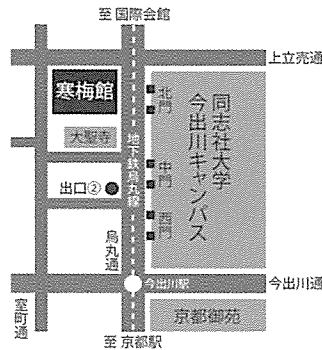
京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103

●京都市営地下鉄烏丸線「今出川駅」下車

②番出口より北へ60m程。

●駐車場・駐輪場はございません。

公共交通機関をご利用ください。



※当日の催し等は変更になる場合があります

※全国手話研修センター公式サイトにも詳細を掲載いたします

<http://www.com-sagano.com/> (QRコード下記)

映像祭に関するお問い合わせ先

第13回さがの映像祭実行委員会 事務局

(社会福祉法人 全国手話研修センター 企画課)

〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4

FAX 075-873-2647 TEL 075-873-2646

Email kikaku@com-sagano.com



ワークショップ申込書(FAX 075-873-2647)※ワークショップ参加は無料ですが、入場には映像祭チケットが必要です。

1. 申込希望ワークショップ ※○をつけてください(複数申込可)

() 1/28 今村彩子監督ワークショップ () 1/29 ろう映画関連ワークショップ(仮題)

2. お名前(聴覚障害の有無)

_____ (聴覚障害者・健聴者)

_____ (聴覚障害者・健聴者)

_____ (聴覚障害者・健聴者)

3. 連絡先(FAX・TEL・Email など)

【備考】